

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、またお問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 非透析慢性腎臓病患者と血液透析患者における
血清アルブミン濃度と血清亜鉛濃度の関連性の比較

[研究責任者] 長崎医療センター 栄養管理室 安藤翔治

[研究の背景] 亜鉛は人にとって必要なミネラルで、欠乏すると貧血、易感染性、味覚障害などを呈することに加え、慢性腎臓病患者さんにおいては心血管系の合併症が増加する可能性があります。慢性腎臓病患者さんは亜鉛欠乏になりやすく、その研究が多くされています。これらの研究において、血清亜鉛濃度は血清アルブミン濃度と高い関連性があると報告されています。しかし、非透析慢性腎臓病患者さんと血液透析患者さんにおける血清アルブミン濃度と血清亜鉛濃度の関連性の違いは検討されていません。この違いを詳細に検討することで亜鉛欠乏の理解を深めることができ、亜鉛欠乏治療に関する新たな知見を得られる可能性があります。そこで遡ってデータを集計する研究を計画しました。

[研究の目的]

非透析慢性腎臓病患者さんと血液透析患者さんにおける血清アルブミン濃度と血清亜鉛濃度の関連性を比較、検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2014年1月1日から2023年12月31日の間に長崎医療センター腎臓内科に入院または外来受診および他診療科入院中に腎臓内科医が介入し、午前に血清亜鉛濃度を測定した慢性腎臓病患者さんです（血液透析患者さんを含みます）。

なお、1.血清アルブミン濃度の情報を収集不可、2.亜鉛製剤の内服、3.血清亜鉛濃度に影響する疾患、のいずれかを有した患者さんは対象外となります。

●研究期間：倫理委員会承認 ～ 2025年3月31日

●利用するカルテ情報

血清亜鉛濃度測定時の以下の項目です。

- 年齢、性別、慢性腎臓病の成因疾患、併存疾患、透析浄化法
- 身長、体重
- 血算生化学検査値
(亜鉛、Alb、AST、ALT、ALP、T-Bil、BUN、Cr、K、P、CRP、WBC、Lym、Hb、MCV、PLT、尿蛋白/Cr比)
- 推算糸球体濾過量(eGFR)
- 薬剤

[研究情報の取扱い]

情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

栄養管理室 安藤翔治

電話番号：0957-52-3121（代表）

対応可能時間 平日 8：30～17：15